

# KTM Japan MY2022 新型 RC シリーズを発売

KTM Japan 株式会社（東京都江東区、代表取締役：オリバー・ゴーリング）は、MY2022 で新型となった KTM RC 390 と KTM RC 125 の発売を発表いたします。

2022 年モデルの新型 KTM RC シリーズは、MotoGP™マシン KTM RC16 からインスピレーションを受け、レースバイクの DNA をストリートに持ち込んだスーパースポーツマシンです。サーキットレースのテクノロジーとデザインを採用した新型 KTM RC のラインナップは、全く新しいシャーシ、劇的に改善されたエルゴノミクス、電子制御装置のアップグレードを特徴としています。

グランプリマシンをイメージしたスタイリングは、ほぼすべてのパネルが一掃され、レースにインスパイアされたラインと新しいグラフィックが、このモーターサイクルのスポーティなキャラクターを明確に表現しています。

このデザイン変更は、RC シリーズのサイズを大きくすることで視覚的な存在感を高めるだけでなく、高速域におけるエアロダイナミクスの最適化を図るために意図的に行われたもので、計算流体力学に基づく設計プロセスも一部で採用されています。

この新しいデザインはウィンドプロテクションの最適化も図られており、インナーとアウターの 2 枚のパネルを組み合わせることで、ライダーへの負担を低減するだけでなく、車体のヒートマネジメントも強化しました。

リアのボディワークは、よりアグレッシブなプロフィールを実現するために可能な限り縮小され、同時に再設計されたスチール製トレリスサブフレームを可能な限り多く見せるよう配慮されています。

真のスポーツバイクとして、エルゴノミクスの改善にも特別な配慮がなされています。膝周りはエルゴノミクスに基づいて開発され、ライダーがよりスムーズに動けるよう可能な限りスリム、かつ大きな接地面積を確保しています。

コックピットとウインドスクリーンホルダーは、上部がアルミ鋳造、下部がヘッドライトを固定する複合材で構成される新しい 2 パーツ構造で、燃料タンクは大型化され、日常的なライディングでの使い勝手や航続走行距離の向上に貢献しています。

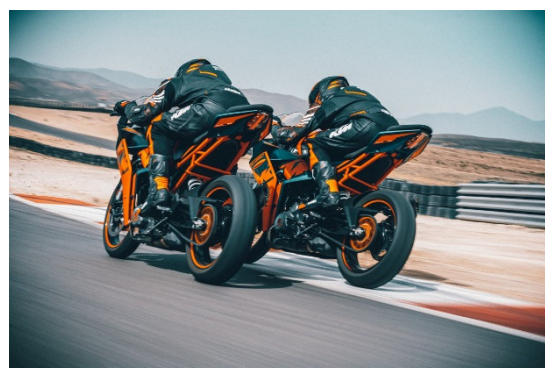
新しい車体は、ボルトの数を減らし、マウントシステムの設計を見直すことで、簡単に取り外しができるようになっています。これにより、ストリート用のボディワークからレース用のパネルに交換することがより容易になりました。しかし、KTM RC シリーズの最も注目すべきアップデートは、新しいボディワークの下に見ることができます。



KTM RC 390 (オプション装着車)



KTM RC 390 (オプション装着車)



KTM RC 390 (オプション装着車)

新型 KTM RC シリーズは、軽量化に重点を置いて開発され、シャシー全体で大幅な軽量化が図られています。全く新しい設計のホイールにより、従来モデルよりもバネ下重量を 3.4kg 削減し、新しい BYBRE 製ブレーキシステムにより、960g もの驚くべき軽量化を実現しています。フレームも 1.5kg の軽量化が図られています。

サスペンションも大きく刷新されました。KTM RC 390 のフロントにはオープンカートリッジの WP 製 APEX 倒立フロントフォークが採用され、左に 30 クリックのコンプレッション、右に 30 クリックのリバウンド調整機能を備えています。リアにはプリロード調整と 5 クリックのリバウンド調整が可能な WP 製 APEX リアショックが装備されています。

KTM RC 125 には、スポーティな設定の新しい WP 製 APEX オープンカートリッジフロントフォークと、スプリットピストン機能を持つ新しい WP 製 APEX リアショックを装備しています。

KTM RC シリーズの全モデルにダブルオーバーヘッドカムシャフト、4バルブ、電子燃料噴射装置を備えた水冷単気筒 4 ストロークエンジンが搭載されています。また、新設計のエアボックスにより KTM RC 390 は従来モデルに比べてより大きなトルクを実現しています。そして増加したトルクと全体的なライダービリティを向上させるために、新しいエンジンマッピングが採用されました。

電子制御の面においても、新世代の KTM RC シリーズは大幅な進化を遂げています。KTM RC 390 には、SUPERMOTO ABS、リーンアングルセンサー付きコーナリング ABS、コーナリング MTC を標準装備しており、クイックシフター+もオプション設定されています。

新しい TFT カラーディスプレイの採用により、ライダーは重要な情報にアクセスしやすくなっただけでなく、表示させたい情報を選択できるようになりました。また、ディスプレイは周囲の明るさに合わせて自動的に輝度を調整します。

#### ■ KTM RC 390

発売予定時期 : 2022 年 6 月  
メーカー希望小売価格 : 830,000 円 (消費税 10%込み)  
<主要諸元>  
エンジン型式 : 水冷 4 ストローク DOHC 単気筒  
総排気量 : 373 cc  
最高出力 : 32 kW (44 PS) / 9,000 rpm  
最大トルク : 37 Nm / 7,000 rpm  
変速機 : 6 速  
タイヤ (F/R) : 110/70 ZR-17" / 150/60 ZR-17"  
ホイールベース : 1,343 mm  
シート高 : 824 mm  
燃料タンク容量 : 約 13.7 ℓ  
車両重量 : 約 155 kg (燃料除く)  
カラー : ブルー×オレンジ、オレンジ×ブラック  
保証期間 : 2 年間  
生産国 : インド  
※KTM MY RIDE は非装着となります。



KTM RC 390



KTM RC 390

**KTM**

■KTM RC 125

発売予定時期 : 2022年6月  
メーカー希望小売価格: 629,000円 (消費税10%込み)

<主要諸元>

エンジン型式 : 水冷4ストローク DOHC 単気筒  
総排気量 : 124.7 cc  
最高出力 : 11 kW (15 PS) / 10,000 rpm  
最大トルク : 12 Nm / 7,500 rpm  
変速機 : 6速  
タイヤ (F/R) : 110/70 ZR-17" / 150/60 ZR-17"  
ホイールベース : 1,343 mm  
シート高 : 824 mm  
燃料タンク容量 : 約 13.7 ℓ  
車両重量 : 約 147 kg (燃料除く)  
カラー : ブラック  
保証期間 : 2年間  
生産国 : インド

※KTM MY RIDE は非装着となります。



KTM RC 125

※ 主要諸元の値は EU 仕様のものとなります。日本仕様では値が異なる場合があります。

以上

本件に関するお問い合わせ

KTM JAPAN 株式会社 Marketing & PR 担当: 増岡 淳  
〒135-0063 東京都江東区有明 3-5-7 TOC 有明 EAST TOWER 9F  
TEL: 03-3527-8885 FAX: 03-3527-8890 HP: <http://www.ktm.com>

※車両のほかレース画像など豊富な画像ダウンロードサイト「KTM MEDIA LIBRARY」をご利用ください。

※REGISTERを行うことでより高解像度の画像も入手可能です。

KTM MEDIA LIBRARY <https://media.ktm.com>